

統合準備委員会ニュース第4号

平成14年(2002年)10月7日発行

竹見台小学校・南竹見台小学校統合準備委員会

委員長 田辺妙子

統合によるメリットがより大きなものになるように検討しています！

9月25日(水)第5回竹見台小学校・南竹見台小学校統合準備委員会を開催しました。前回、前々回に教育委員会から示された「統合後の学校施設について(案)」や「統合後のモデル校づくりについての教育委員会としての考え方(案)」などについて、委員から様々な意見が出されました。おもな意見の内容は次のとおりです。

委員より出されたおもな意見

- ・ 9月18日に地域での集まりがあり、その中で「教育委員会から示された内容は、モデル校づくりにしても学校施設の整備にしても、こうしていききたいという表現ばかりで、明確に実施することが示されていない」「地域としては今の教育環境に不満があるわけではない。統合によって優遇されるビジョンが示されていない」「モデル校づくりの具体的な話をする中に、PTAの代表も入って意見を出させてほしい」「プールの移転を同時に行うことが無理ならば、プールへの通路や更衣室を確保し、新しい校舎ができた時点でプールの移転をしてほしい」といった意見が出された。
- ・ 現在の5年生は、竹見台小が2学級、南竹見台小が1学級であるが、統合した場合、学級編制の基準では2学級となる。竹見台小の5年の児童にとっては学級の人数が今よりも多くなり、むしろ教育環境が悪くなるのではないか。また、5年生は新しい校舎にも移れないし、慣れた竹見台小の校舎で卒業することもできないなどメリットがない。保護者の7～8割は3学級にすることを希望している。竹見台小の保護者の3分の1が5年生の保護者である。3分の1が不満を抱いた中で統合されるのはどうかと思う。
- ・ 一番ネックになっているのは学級編制の問題である。全体的な傾向は少人数にしていく方向になっている。今の5年生を3学級にすることもできるのではないか。
- ・ 何もメリットがないのであれば来年4月実施にこだわる必要はない。今までのものにプラスしたメリットがなければみんな納得しない。
- ・ 現在の4年生・5年生は南竹見台小の校舎で過ごすことになる。2年間使用する南竹見台小の校舎についても整備をお願いしたい。
- ・ 今まで2つのプールを使っていたのが、倍の人数で1つのプールを使うことになるのもデメリットの一つである。
- ・ 小中一貫教育が来年4月からスタートできるのか。4月からスタートさせるためには、その前に準備期間が必要である。そのために人事異動を早めに行うなどの配慮が必要ではないか。

- ・小中一貫教育によって部活動の廃部を防ぐような方向に持っていけるのか。
- ・小中一貫教育がどういうものなのか保護者にはわからない。具体的な内容とどういう成果が期待できるのかを示してほしい。
- ・統合準備委員会として意見をまとめて教育委員会に出す必要がある。それに対して、教育委員会としてできることとできないことをはっきり示してほしい。それによって考えてはどうか。統合を延ばしてもいいのではないか。
- ・今のままで何の不満もない。教育効果や社会性の問題が言われるが、自分の子どものことを考えるとあてはまらないことが多い。統合してほしいという声がたくさん出ているのであれば別だが。
- ・今の4分の3の敷地は使って、ゆったりとした教育環境にすべきである。地域でも運動場2面を使っていろいろな活動をしているし、体育館も2つ使用している。それが1つになればデメリットが大きい。
- ・気運は両小学校ともに盛り上がってきている。学校としては進む方向で話をしている。教育内容などについて教育委員会と学校が話し合っていく必要がある。4月にならないとできないこと、4月すぐにはできないこともある。
- ・小中一貫教育についてもその中身のビジョンがまだ明らかになっていない。教育委員会と両小学校・中学校でビジョンづくりを進める話し合いを早急に持つ必要がある。学校内で話し合いを持ったが、A E T(英語指導助手)や部活動指導者などの人材の問題や、基礎学力から進路指導まで9年間を見通した指導の研究と教育課程の問題、教材教具の整備や研究システムの問題など様々な検討課題がある。
- ・P T Aに統合準備委員会ニュース第3号を配布する際に、感じたことを書いてもらったところ、「何事も子どものことを一番において考えてほしい」「竹見台小の運動場の排水工事をしてほしい」「小学校敷地内にプールを移設してほしい」「1年生から6年生、中学生も含めて交流できるスペースを作ってほしい」「無駄に広い校舎でなく安全な新校舎を新築してほしい」「学校施設もさることながら教育方針の統一や教職員のチームワークの確立に尽力してほしい」「南竹見台小の空き教室を高齢者に開放してほしい」「事前に細かく詰めすぎると身動きが取れなくなるのではないか」「細かいことを決める前にまずは日々の教育活動が大事と考える」「体育館を両方使えるようにしてほしい」「運動場を芝生にすることも考えてはどうか」「ビオトープづくりをしてほしい」「パソコンを一人一台使えるようにしてほしい」「図書室の本をもっと増やしてほしい」などの声が寄せられた。

教育委員会からは、現在の5年生を3学級編制にすることは難しいが授業の中で少人数指導ができるように考えていること、小中一貫教育に取り組む中で教科の連携により教育効果を高めることやA E Tの活用により国際理解教育を進めるなど教育内容においてメリットを大きなものにすること、教育委員会と学校で小中一貫教育の内容などについて検討を進めることなどの回答がありました。今後、統合準備委員会としての意見を早急にまとめ、教育委員会に提出する予定です。

次回は、10月16日(水)の午後8時から開催する予定です。